

課題 アブラナやサクラと、マツでは、花にどんな違いがあるだろうか。

方法 アブラナやサクラの花のつくりと、マツにある雌花、雄花を比べながら観察する。

（アブラナやサクラはP24の図2、図3，P25の図4参照）

（マツはP26の図3を参照）

結果 ・マツには、花弁やがくがなく、うるこのような**りん片**がある。

・**雌花のりん片**には、胚珠はあるが、子房はない。

・**雄花のりん片**には、**花粉のう**があり、花粉が入っている。

・花粉は、胚珠に直接ついて受粉し、種子ができる。

ポイント ・マツのように、胚珠がむき出しになっている植物を**裸子植物**という。

・アブラナやサクラのように、胚珠が子房の中にある植物を**被子植物**という。

・**裸子植物**や**被子植物**のように、花をつけて種子をつくる植物を**種子植物**という。

・P27の図6を**実際に書いてみる**と、覚えやすいですよ！

課題 種子植物は、どのような違いで、どのように分類できるだろうか。

方法 様々な植物から、同じところ、違うところを探し、分類する。

（ツバキ、ツユクサの葉は、P31の写真を参照）

（イネ、トウモロコシの根は、P48の図1、タンポポ、ヒマワリの根は、P53の図3を参照）

（子葉は、P52の図2を参照）

結果 ・ **種子植物**は、子房の有無で**被子植物**と**裸子植物**に分類できる。（ほかの観点でも分けられる）

・ **被子植物**は、子葉の数で、**単子葉類**と**双子葉類**に分類できる。

※ **単子葉類**は、葉脈が平行、茎の維管束がバラバラ、根が細い**ひげ根**からできている。

双子葉類は、葉脈が網目状、茎の維管束が輪の形、根が太い1本の**主根**とそこからのびる**側根**からできている。

・ **双子葉類**は、花弁が1枚ずつ分かれている**離弁花類**、すべてつながっている**合弁花類**に分類できる。

ポイント ・ **種子植物**は、P52の図1、図2、図3、図4などから、いくつかの仲間に分類できる。

・ **P52の図5**をしっかりと覚えよう。また、**そこに書いてある以外の植物**は、**どこに分類されるか**調べてみよう！